

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学小児科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年1月 福島県立医科大学医学部小児科学講座 講座主任 細矢 光亮

【研究課題名】

小児腎疾患と赤血球分布幅に関する研究

【研究期間】2021年1月(承認後)～2025年12月31日

【研究の意義・目的】

医療の発展により新しい免疫抑制剤などの治療法が開発され、小児腎臓病の患者さんの治療成績は向上してきましたが、未だに長期にわたる治療を余儀なくされる方がいます。小児腎疾患には先天性腎尿路奇形、尿路感染症、ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、慢性腎炎、急性腎障害、慢性腎臓病という病気があります。いずれの病気も将来に腎後遺症を残す可能性がある重要な疾患です。どのようにしたら予防や新しい治療ができるのかといった問題について、これまでに多くの研究がなされてきました。しかし多くのことはまだ詳細にはわかっていません。

血液の役割はたくさんありますが、最も重要な役割は、酸素や栄養素を体全体に配ることです。中でも赤血球は酸素の運搬を担う重要な血球です。赤血球数の大きさは様々で、その大きさの分布を赤血球分布幅（Red blood cell distribution width、以下RDW）といい、成人の心筋梗塞などの心疾患やがんにおいて、RDWが重要な役割を示していることが明らかになってきました。しかし腎臓病においてRDWの重要性については未だ詳しくはわかっていません。そこで本研究では当院で治療を行った患者さんの血液検査のRDWなどの赤血球に関する値と上記の疾患の発症や予後に関する研究を行います。

本研究では当院で治療を行った患者さんの定期採血の結果から、RDW等の情報を収集し、上記疾患の予後との関連を明らかにすることで診断や治療に役立つことが期待できます。

【研究の対象となる方】

2006年1月から2020年12月に本学附属病院小児科で治療を受けた先天性腎尿路奇形、尿路感染症、ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、慢性腎炎、急性腎障害、慢性腎臓病の患者さんを対象としています。

【研究の方法】

上記対象者の初発時や再発時、病気が落ち着いた時(寛解)、治療開始から5年後までの血液検査データをカルテから収集し、分析します。

【研究組織】

研究責任者	(所属) 小児科学講座 (職) 教授	(氏名) 細矢光亮
研究分担者	(所属) 小児科学講座	(氏名) 陶山和秀
	(所属) 総合周産期母子医療センター	(氏名) 郷勇人
	(所属) 小児科学講座	(氏名) 小野敦史
	(所属) 小児科学講座	(氏名) 久米庸平
	(所属) 小児科学講座	(氏名) 前田亮

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 前田亮

電話:024-547-1295

E-mail:a0001734@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 前田亮

電話:024-547-1295

E-mail:a0001734@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177